

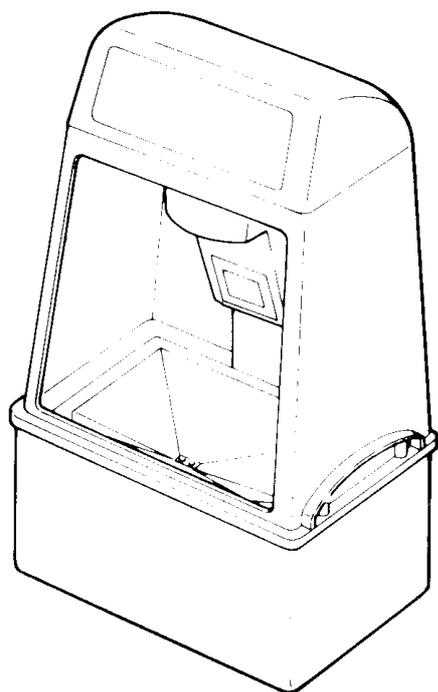


# 取扱説明書・注意書

手の消毒器 て・きれいき

TEK-101A

- このたびは、手の消毒器 て・きれいきをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
- お使いになる前に、必ずこの取扱説明書・注意書をお読みいただき、正しい使い方をしてください。
- まちがった使用をされますと、機能を十分に発揮しなかったり、故障や思わぬ事故・危険を招くことがあります。
- この「取扱説明書・注意書」は大切に保管しておいてください。



## 目 次

|                   |    |
|-------------------|----|
| ■ 特に注意していただきたいこと  | 1  |
| ■ 各部の名称           | 4  |
| ■ 使用方法            | 6  |
| 運転前の準備と確認         | 6  |
| 運 転               | 7  |
| 使用上の注意            | 8  |
| 安全装置              | 10 |
| ■ 日常のお手入れ         | 10 |
| ■ 故障・異常の見分け方と処置方法 | 12 |
| ■ 仕 様             | 13 |
| ■ アフターサービス        | 14 |
| ■ 設 置             | 15 |
| 設置場所の選定           | 15 |
| 壁掛け設置             | 15 |
| 卓上設置              | 17 |
| 受け皿の固定            | 17 |
| 自動ドア連動出力          | 18 |
| ■ 別 売 品           | 19 |

このたびは、手の消毒器**て・きれいき**をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

本製品には下記のような付属品が入っていますので、ご確認の上ご使用ください。

**壁取付用部品** (使用方法は15ページをご覧ください。)

クッション材の中

ビニール袋

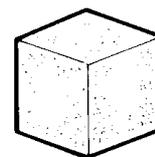
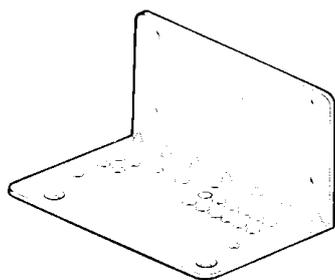
壁掛金具 (1個)

化粧ねじ  
(3本)

木ねじ  
(4本)

オールプラグ  
(4本)

壁用クッション  
(1個)



**本 体 部 品**

クッション材の中

ビニール袋

廃液タンク (1個)

ステンレスねじ (1本)



使用方法は6ページをご覧ください。

使用方法は11ページをご覧ください。

# 特に注意していただきたいこと

て・きれいき の使用および消毒液の取扱いで、次の点は特に注意してください。

特に注意していただきたいこと

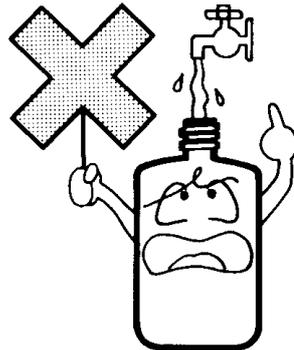
## 消毒液

### ● 指定液の使用



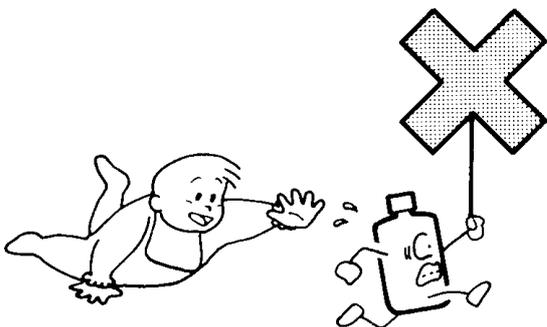
- 消毒液は日本薬局方消毒用エタノールをお使いください。尚、アロクリンE（アルコール衛生剤）もお使いいただけます。指定液以外の使用は、器具の故障の原因となるばかりか、保証期間内であっても無料サービスが受けられません。

### ● うすめ禁止



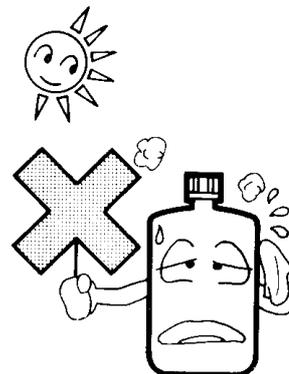
- 消毒液はうすめないでお使いください。うすめると消毒効果が無くなるばかりか、器具の故障の原因になります。

### ● 飲用厳禁



- 消毒液はアルコールと水が主成分ですから人体には安全ですが、飲用ではありません。誤って飲んでしまったときは吐かせて、目に入ったときは、水でよく洗い流してください。

### ● 冷暗所に保管

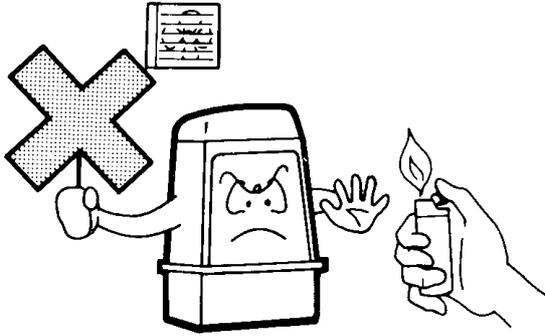


- 消毒液の保管は、火気の無い冷暗所としてください。
- 直射日光の下に長時間放置しないでください。
- 貯蔵は危険物施設の許可を得た施設を除いて、400ℓ未満としてください。

## 使用

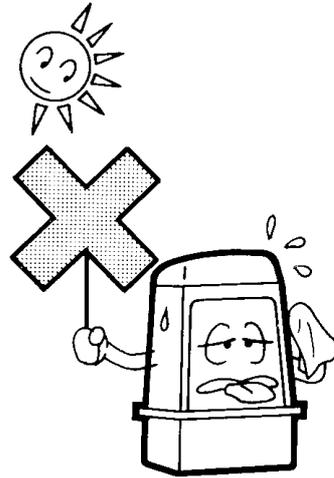
特に注意していただきたいこと

### ● 火気厳禁



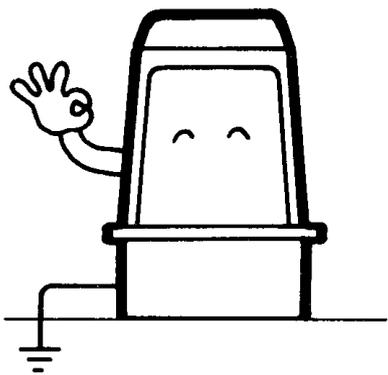
- アルコールを使用しているため、換気が良好で火気のない場所に設置してください。  
又、火花が出るような器具のそばへの設置も避けてください。

### ● 屋内専用・直射日光厳禁



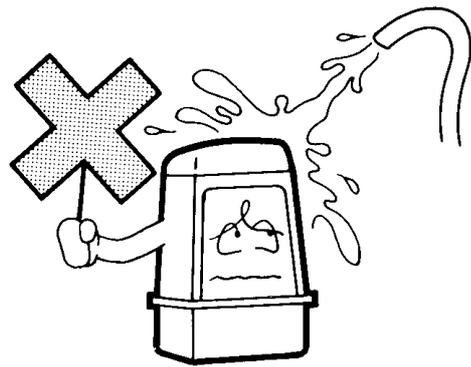
- 屋内で直射日光の当たらない場所に設置してください。

### ● アース必要



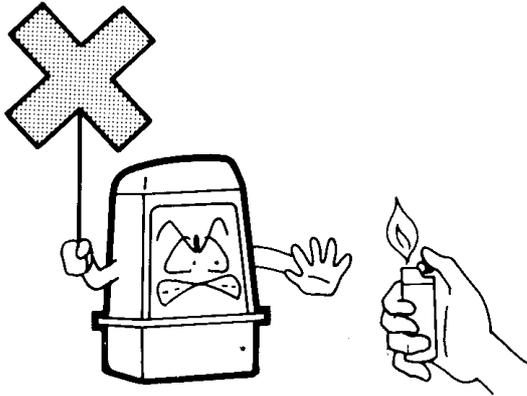
- 安全にご使用いただくためにアースをお取り付けください。  
アースのお取り付けについてわからないときは、販売店にご相談ください。

### ● 水かけ禁止



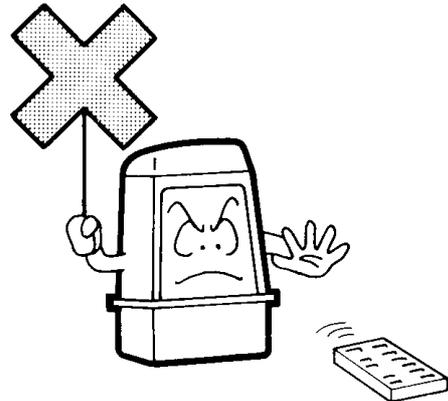
- 本体に直接水などをかけないでください。  
電気絶縁が悪くなり、感電事故や故障の原因になります。

### ●いたずら注意



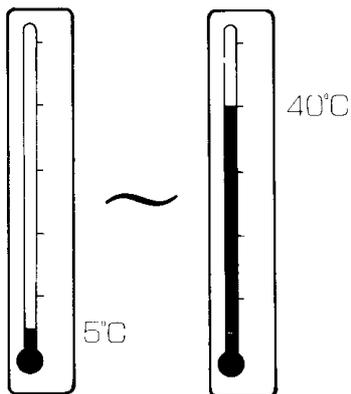
- いたずら防止のため、管理者の目の届かない場所への設置は避けてください。

### ●リモコン注意



- テレビやビデオのリモコンを本体に向けて動作させないでください。リモコンの種類によっては、誤動作する場合があります。

### ●使用温度注意



- て・きれいさの使用温度範囲は、 $+5^{\circ}\text{C}$ ~ $+40^{\circ}\text{C}$ です。これ以外の温度で使用すると、消毒液が噴霧されずに、垂れ落ちる場合がありますので注意してください。

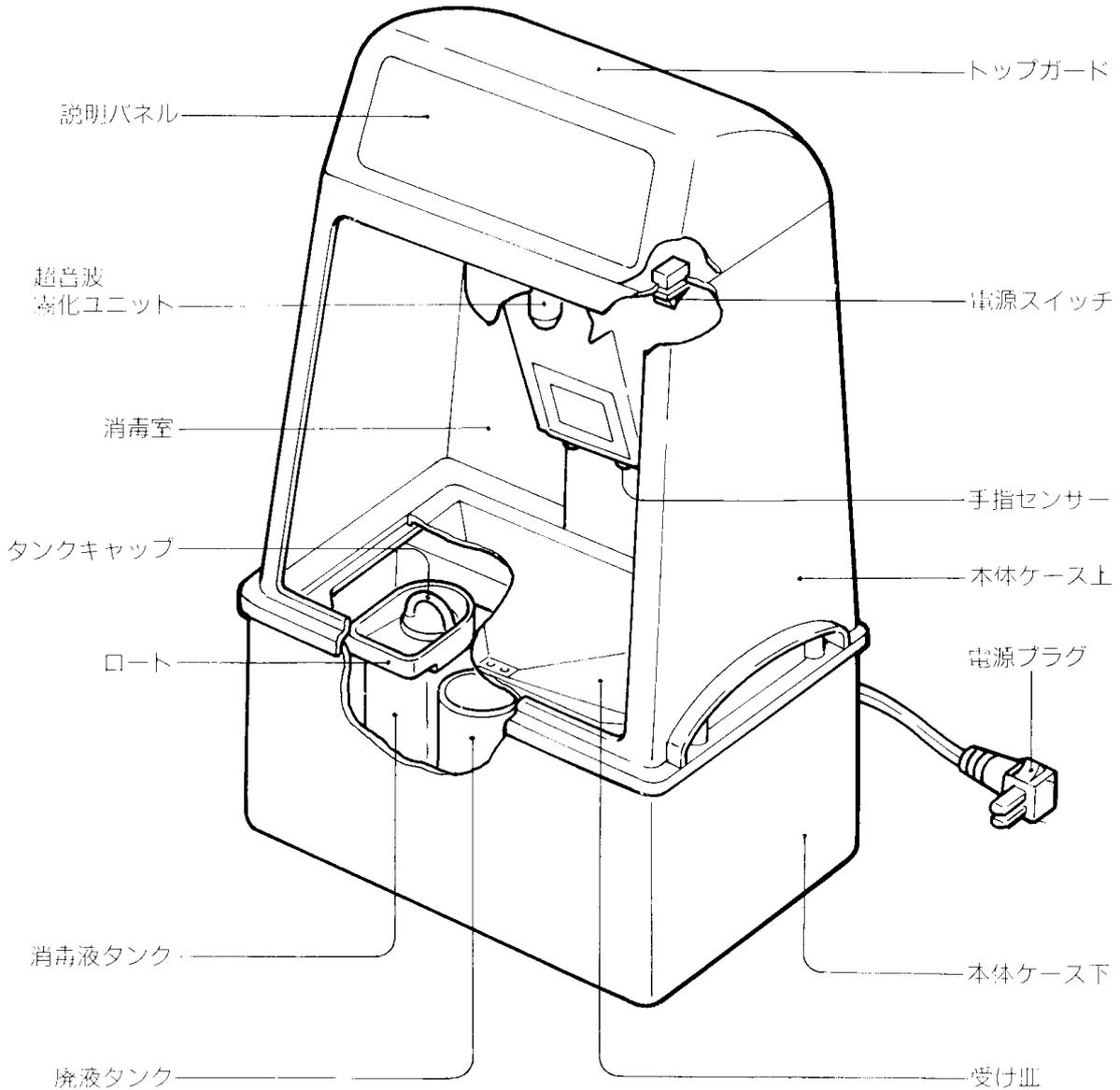
### ●一般注意事項

- 長時間使用しないときは、必ず電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 消毒液の補給は、電源スイッチを切ってから行ってください。
- 噴霧のための超音波霧化ユニットには、電気部品があります。危険ですから手を入れないでください。
- 本体に直接、殺虫剤をかけないでください。

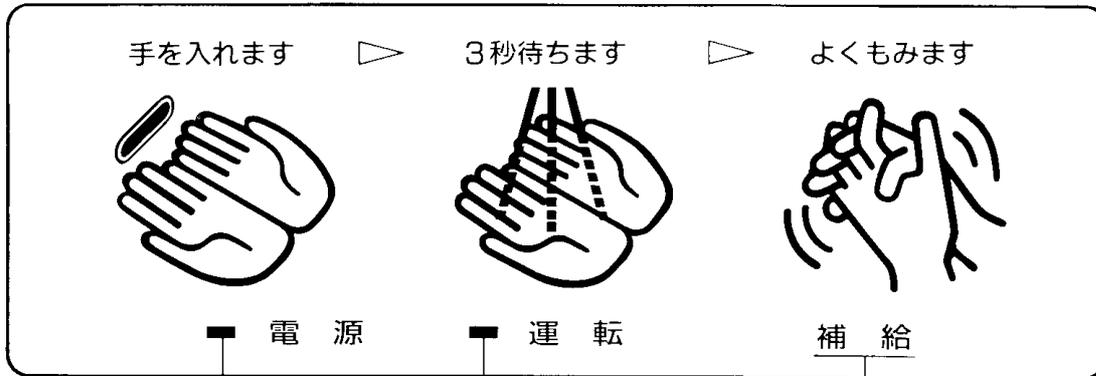
# 各部の名称

## 外観図

各部の名称  
(外観図)



# 説明パネル



## 電源ランプ

- 電源スイッチを入  
れると点灯します。

## 運転ランプ

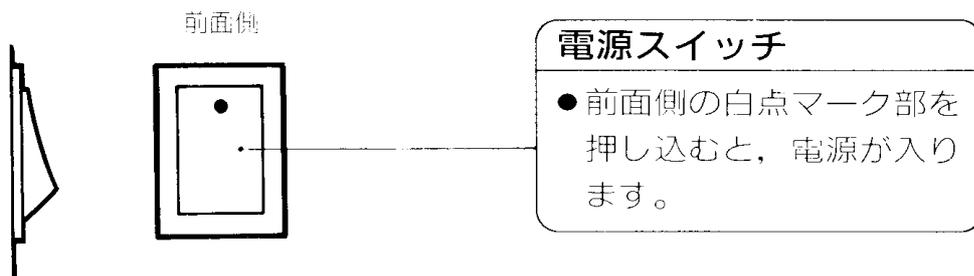
- 消毒液噴霧中に点灯し  
ます。噴霧が終っても  
約1.5秒間は点灯し、  
この間、手指センサー  
は受け付けません。

## 補給表示

- 消毒液が無い時に表示  
が赤くなります。
- 表示が点滅している時  
は、液不足です。消毒  
液を補給してください。

各部の名称（説明パネル・操作部）

# 操作部



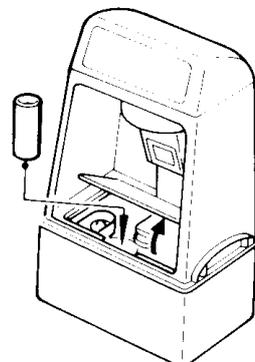
# 使用方法

## 運転前の準備と確認

使用方法（運転前の準備と確認）

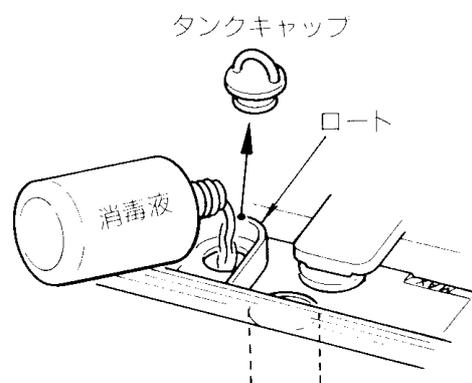
### 1 廃液タンクのセット

- 受け皿を上方に持ち上げて、上部クッション（梱包部材）に収納されている廃液タンクを、図の位置にセットしてください。  
受け皿は、上まで持ち上げるとマグネットにより、保持されます。



### 2 消毒液の補給

- タンクキャップを上方に引張って取り外し、指定の消毒液を1ℓ（1ℓ限度）注入してください。  
この際、ロートより液がこぼれないよう注意して注いでください。
- 注入後タンクキャップをしっかりと閉めてください。
- 受け皿を静かに閉めてください。

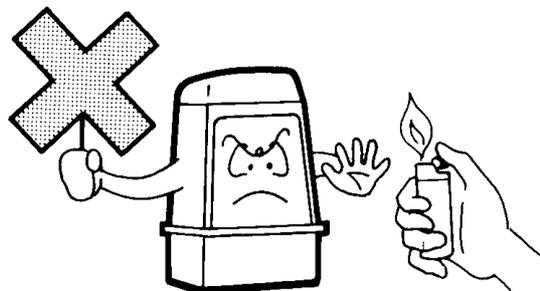


### 3 電源

- 電源はAC100Vです。（周波数は50/60Hz共用）
- 電源プラグをコンセントに差し込んでください。  
コンセントは必ず専用コンセントを使用してください。

### 4 火気の有無

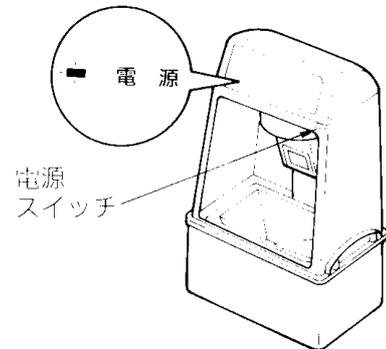
- 本体近くに火気が無いことを確認してください。



# 運 転

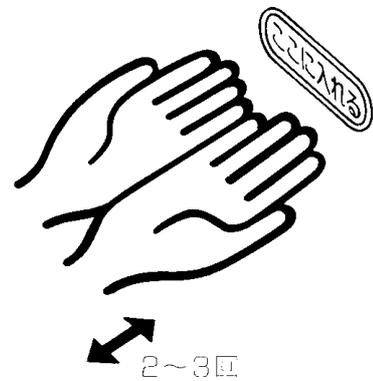
## 1 電源投入

- 電源スイッチを入れて（白点マークを押す）電源ランプが点灯していることを確認してください。  
この際、補給の表示が点灯した場合は、消毒液が不足しています。電源スイッチを切ってから消毒液を補給してください。



## 2 初回（納品時のみ）運転開始の方法

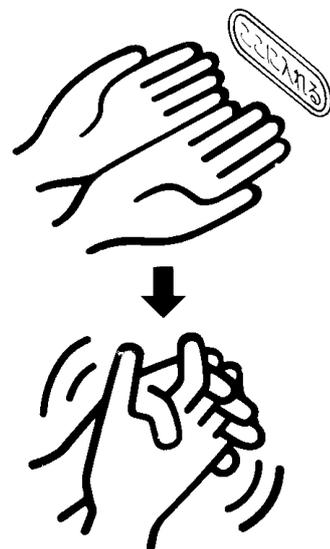
- 手を消毒室内の「ここに入れる」の位置に入れてください。  
手指センサーが手を感知し、ポンプが作動します。この時少し大き目の音がでますが、これはポンプが空打ちしているためで、故障ではありません。  
消毒液を吸いはじめると音は静かになります。
- 手を入れて約2秒たつとポンプの作動が停止しますので、一旦手を消毒室から出し、約2秒間待って運転ランプが消灯していることを確認してから、再度手を消毒室に入れポンプを作動させます。  
この動作を消毒液が噴霧されるまで（約2～3回）繰り返してください。消毒液が噴霧し始めれば、準備完了です。



**【注意】** 2～3回繰り返しても消毒液が噴霧されずに垂れ落ちる場合は、一度電源スイッチを切ってから再度スイッチを入れてください。  
次からは正常に噴霧が行えるようになります。

## 3 手指の消毒方法

- 両手をそろえ手のひらを上にして、消毒室内の「ここに入れる」の位置に入れて3秒待ちます。この際噴霧された消毒液を手のひらと指で受け止めるようにします。
- 噴霧が終了したら消毒室から手を出して、指先や指と指の間にすり込むようによくもんでください。もんでいる間に消毒液が乾いて消毒が完了します。



## 使用上の注意

### 長時間使用しない時は

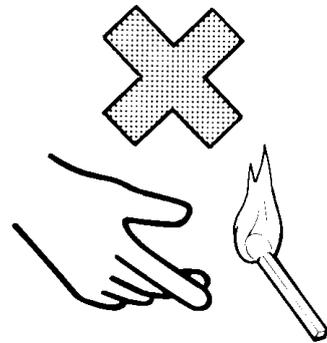
夜間等長時間使用しない時は、必ず電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。

#### 【注意】

電源スイッチを切ってからすぐに再投入した場合、消毒液がわずかに噴霧される時がありますが、これは超音波霧化ユニットの先端に少量残っていた消毒液が霧化されて、落下したものであり、故障ではありません。

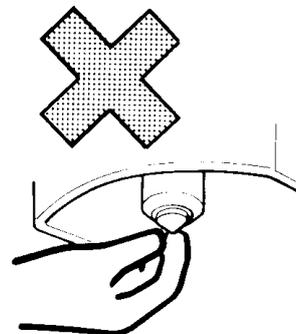
### 火に注意

消毒液でぬれた手を火のすぐそばに近づけると、消毒液に火が引火して大変危険です。  
消毒後は必ず手をよくもんで、乾かしてください。



### 超音波霧化ユニットにさわらないで

超音波霧化ユニットには電気部品があります。危険ですので絶対に手や指を入れないでください。特にユニットの先端の円すい部には手を触れないでください。器具の故障の原因になります。



### 運転ランプ点灯および点滅

運転ランプ点灯中は、消毒液の噴霧が止まっても運転動作中です。  
このランプが点灯している時に一度手を抜いて、再度手を入れても噴霧は行われません。

必ず運転ランプが消えていることを確認してから、手を入れるようにしてください。

又、運転ランプが点滅している時は、手指センサーに長時間（15秒以上）信号が入りっぱなしになっているときです。このときに手を入れても噴霧は行われません。原因を取り除いてください。

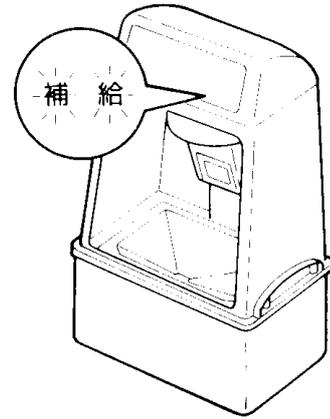
### 補給表示点滅および点灯

使用中に消毒液が不足してくると、補給表示が点滅して液不足を知らせます。

点滅をはじめてから20回は消毒液が出ますが、それ以降は表示が点灯にかわって、消毒液が出なくなります。

補給表示が点滅したら、すみやかに消毒液を補給してください。

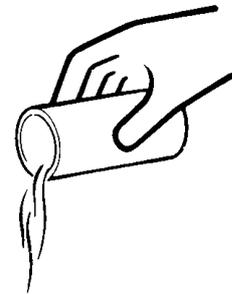
補給の際は必ず電源スイッチを切り、1ℓ以上は入れないでください。



### 廃液の処理

廃液タンクにたまった消毒液は、液補給時に必ず捨ててください。

液を捨ておわりましたら、廃液タンクは忘れずに元の位置に戻してください。



### 噴霧が正常に行われなかったら

噴霧中に停電したり、何らかの原因により超音波霧化ユニットが作動しなかった場合は、消毒液が噴霧されずに垂れ落ちることがあります。このような時には、一度電源スイッチを切ってから、再度スイッチを入れてください。

超音波霧化ユニットの先端にたまり過ぎた消毒液をふき飛ばして、次からは正常に噴霧が行えるようになります。

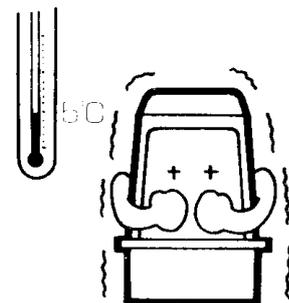
### 毎日の使い始めの際には

毎日の使い始めの1回目の消毒の際には、噴霧量が少ないことがあります。これは超音波霧化ユニットの特性によるもので、故障ではありません。次からは正常な噴霧量になりますので、そのままご使用ください。

### 冬期使用上の注意

外気温が低くなると、電源スイッチを入れてから超音波霧化ユニットが動作可能になるまで少々時間がかかります。

冬期には電源スイッチを入れて3分以上待ってから、消毒を行うようにしてください。



## 安全装置

使用方法  
(安全装置)

- 電流ヒューズ (筒形2A)

使用中、何らかの原因で電流ヒューズが切れたときは、自動的に運転を停止します。

- 電源トランスの温度ヒューズ (溶断温度 133°C)

使用中、何らかの原因で電源トランスが過熱しますと、温度ヒューズが溶断し、自動的に運転を停止します。

**【注意】**

電源スイッチを入れても、電源ランプが点灯せず、手を入れても噴霧しない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

故障・異常の見分け方と処置方法のページをご覧ください。

## 日常のお手入れ

日常のお手入れ

日常のお手入れの際、次のことは絶対に行わないでください。

- 裏板やトップガードの取り外し、及び内部の部品の分解。
- 超音波霧化ユニット先端部をさわること。
- 受け皿及び本体への水かけ。
- 受け皿及び本体の清掃に、みがき粉、たわし、強力洗剤、化学ぞうきん、ベンジン、シンナーなどを使用すること。

お手入れの際は必ず電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 1 受け皿の清掃

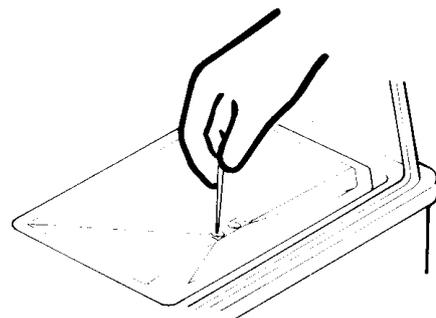
- 1日に1回以上、受け皿に付着した消毒液をやわらかい布で拭き取ってください。

消毒液が付着したまま、長時間放置しますと受け皿にはん点状の跡が残り、清潔感が損なわれます。

- 消毒液補給のたびに（又は1カ月に1回）2つの小穴に詰まりが無いか確認してください。どちらか一方でも詰まっている場合は、楊枝又はマッチ棒で穴を掃除してください。

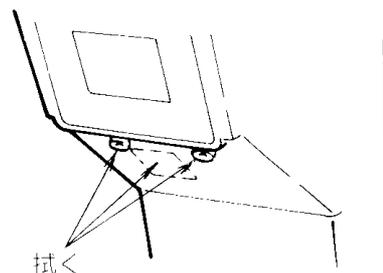
### 【注意】

受け皿は樹脂製ですので、清掃の際、過大な力を加えないでください。



## 2 手指センサーの清掃

- 消毒液補給のたびに（又は1カ月に1回）手指センサーのレンズ部2ヶ所とその中央の樹脂部を、乾いたやわらかい布で拭いてください。センサー部に汚れがつきますと、検出距離が短くなります。



## 3 本体の清掃

- 外装部と消毒室内部の汚れは、ぬるま湯又は中性洗剤のうすめ液を含ませたやわらかい布で拭き取り、仕上げは乾いたやわらかい布で拭き上げてください。

# 故障・異常の見分け方と処置方法

サービスを依頼される前に下記のことを点検してください。  
それでも正常に動作しない場合は、販売店に相談してください。

## 故障・異常の見分け方と処置方法

| 現 象                               | 点 検 と 処 置  | 参 照 ページ                  |
|-----------------------------------|--|--------------------------|
| 噴霧しない。<br>(電源ランプが点灯していない。)        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 停電していませんか？</li> <li>● 電源プラグは抜けていませんか？</li> <li>● 電源スイッチが切れていませんか？</li> </ul>  | 6<br>5・7                 |
| 噴霧しない。 補給ランプ点灯<br>(電源ランプは点灯している。) | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 消毒液は不足していませんか？</li> <li>● 手指センサーの直前に物はありませんか？</li> <li>● 手が奥まで入っていますか？</li> <li>● 手指センサーが汚れていませんか？<br/>(清掃してください。)</li> <li>● 直射日光が当たっていませんか？<br/>(直射日光の当たらない場所に設置してください。)</li> </ul> | 6・9<br>8<br>7<br>11<br>2 |
| 噴霧が途中で止まる。<br>(噴霧量が少ない。)          | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 消毒室内で手を動かしていませんか？<br/>(手指センサーの検出範囲を外れると、噴霧が停止します。)</li> <li>● 長時間使用しなかった後の最初の噴霧は、少ないことがあります。(正常動作です。)</li> </ul>  | 7<br>9                   |
| 噴霧のバランスが悪い。                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体が傾いていませんか？<br/>(水平に設置してください。)</li> </ul>  | 15                       |
| 電源スイッチを入れたとき、少量噴霧する。              | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 正常動作です。</li> </ul>  | 8                        |
| 消毒液が垂れ着る。                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 周囲温度が5℃以下、又は40℃以上になっていませんか？<br/>(5～40℃の範囲でお使いください。)</li> <li>● 冬期で、電源スイッチを入れた直後ではありませんか？<br/>(電源スイッチを入れて、3分以上待ってから消毒してください。)</li> </ul>   | 3<br>9                   |
| 消毒液が本体より垂れる。                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 消毒液タンクの液量が多すぎませんか？<br/>(補給量は補給ランプ点滅後、10にしてください。)</li> <li>● 廃液タンクがあふれていませんか？<br/>(中の液を捨ててください。)</li> </ul>  | 6<br>9                   |
| 大きな音がする。                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設置当初又は消毒液タンクを空にした直後なら正常です。しばらくすると、音は静かになります。</li> </ul>   | 7                        |

# 仕様

仕様

|           |   |
|-----------|---|
| 商 品 名     | て・きれいき  |
| 形 式 名     | TEK-101A  |
| 霧 化 方 式   | 超音波霧化式  |
| 使用温度範囲    | +5°C~+40°C  |
| 電 源       | AC100V 50/60Hz  |
| 消 費 電 力   | 7W (待機時) ・ 46W (噴霧時)  |
| 噴 霧 量     | 約1.0ml/1回 (標準)  |
| 消毒液タンク容量  | 1.2L (補給量1L)  |
| 廃液タンク容量   | 140ml   |
| 外 形 寸 法   | 幅 282mm × 奥行 191mm × 高さ 480mm   |
| 製 品 重 量   | 4.5kg (壁掛金具 1kgを含まず)  |
| 安 全 装 置   | 電流ヒューズ (2A),<br>温度ヒューズ (溶断温度 133°C)   |
| 付 加 機 能   | 手元照明 ・ 自動ドア連動出力   |
| 付 属 品     | 壁掛金具 (1個) ・ 木ねじ (4本) ・ 化粧ねじ (3本) ・<br>壁用クッション (1個) ・ オールプラグ (4本) ・<br>ステンレスねじ (1本) ・ 廃液タンク (1個) |
| 使 用 消 毒 液 | 日本薬局方消毒用エタノール,<br>アロクリンE (アルコール衛生剤)   |

# アフターサービス

## 1 サービスを依頼される前に

- サービスを依頼される前に、12ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」を参照し、もう一度確認してください。  
それでも処置に困るような場合には、お買い求めの販売店、又は別紙の当社支店、営業所、サービスステーションへご連絡ください。

● サービスを依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- ① 形式名：TEK-101A
- ② 現象：異常・故障等詳しく
- ③ ご住所、お名前、電話番号
- ④ 道順：付近の目印も

## 2 保証

- 保証期間中の修理は無料で行ないます。  
ただし、保証期間中であっても有料となる場合があります。詳しくは保証書に記載の「無料修理規定」をお読みください。
- 無料修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理いたします。  
当社は販売店の注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。手の消毒器 **て・きれいき** の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。
  - この期間は、通商産業省の指導によるものです。
  - 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

# 設置

## 設置場所の選定

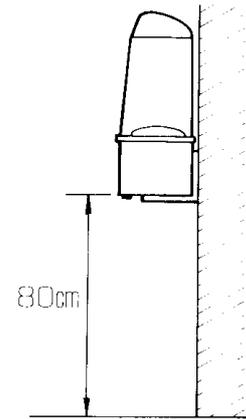
設置

### 1 特に注意していただきたいこと

- 設置前に2～3ページ「特に注意していただきたいこと」をもう一度よく読んで、安全な場所に設置してください。

### 2 設置高さ

- 設置高さは、**て・きれいき**の底面が床面から80cmになるようにしてください。  
(手を入れる位置は1mが理想的です。)



### 3 傾きのないこと

- **て・きれいき**は傾きのないように設置してください。  
傾いて取り付けますと、機能を充分発揮できない場合があります。

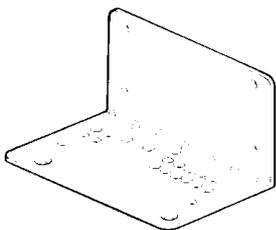
### 4 電気配線

- 電源はAC100Vです。必ず専用コンセントを使用してください。  
電源コードは、他の電気器具のコードや高温のものに触れないようにしてください。

## 壁掛け設置

- 薄い壁や強度のない壁には、設置しないでください。

### 1 壁取付用部品として、以下の部品が入っています



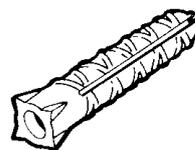
壁掛金具(1個)



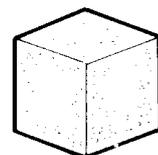
化粧ねじ(3本)



木ねじ(4本)



オールプラグ  
(4本)



壁用クッション  
(1個)

## 2 ねじの使い方

壁の種類によって、次のようにねじをお使いください。

### (1) 壁が合板や木の場合 (図-1)

木ねじを直接木にねじ込み、壁掛金具を固定してください。

あらかじめキリで（電気ドリルなどを使い）下穴をあける場合は、φ2mmであけてください。

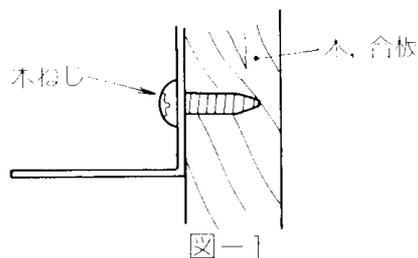


図-1

### (2) 壁がモルタル、発泡コンクリート、日本壁の場合 (図-2)

- ① 壁にφ6mmのキリで（電気ドリルなどを使い）深さ25mmの穴をあけます。
- ② 穴のカスを除去し、オールプラグを元までゴムハンマーなどで打ち込みます。
- ③ 木ねじをオールプラグにねじ込んで、壁掛金具を固定してください。

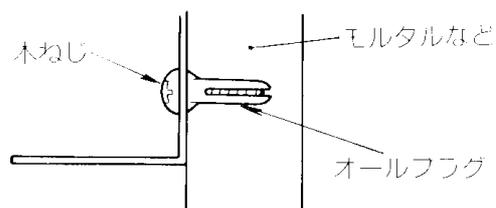


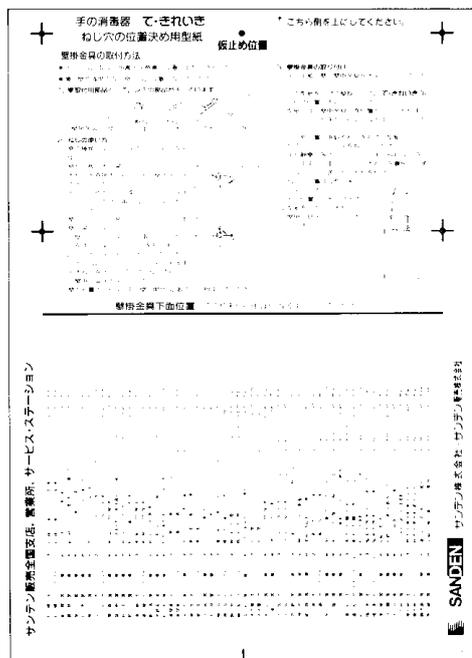
図-2

### (3) 壁が石膏ボードなど中空壁の場合は、販売店に相談してください。

## 3 壁掛金具の取り付け

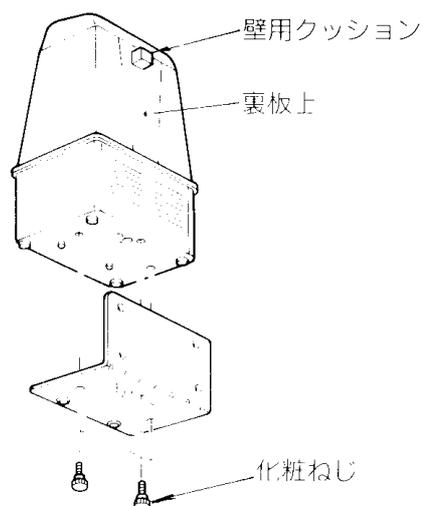
次の手順で壁に壁掛金具を水平に固定してください。

- (1) 壁取り付けの際、壁掛金具が取り付け易いようにねじ穴の位置決め用型紙（サービスネットワークに印刷してあります）が入っていますので、これを使うと容易に**て・きれいき**取り付け位置の位置決めができます。
- (2) 型紙を**て・きれいき**取り付け位置へ貼り付けます。  
型紙には、仮止め位置の印がありますので、画鋲やねじを使って壁に貼り付けます。
- (3) 壁に貼り付けた型紙が、水平になっているか注意してください。
- (4) ねじの位置は、型紙の4個の・印の中心です。  
その位置に印を付けます。
- (5) 型紙をはがし、木ねじで壁掛金具をしっかりと固定します。



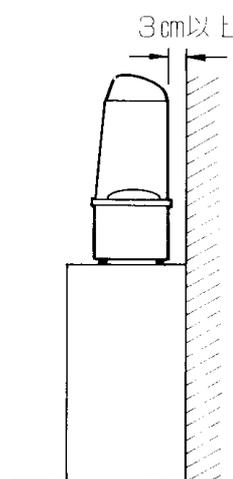
## 4 て・きれいきの固定

- 壁用クッションを裏板上（黒塗装）の上方中央に貼り付けてから、壁掛金具の上に乗せ、下から化粧ねじ3本でしっかりと固定してください。



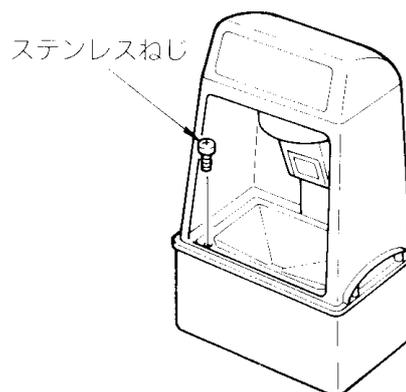
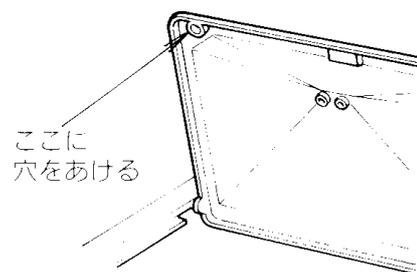
## 卓上設置

- て・きれいきは、中心より後ろ側に重心があります。  
卓上設置の際は、後ろ側が壁になるような場所を選定してください。  
このとき、壁との距離は3cm以上にしてください。



## 受け皿の固定

- 公共の場所等で使用する際は、いたずら防止のため次の手順で受け皿を固定してください。
- ① 受け皿の図の位置に裏側から $\phi 6$ mmのキリで（電気ドリルなどを使い）穴をあけます。
  - ② プラスドライバーを用いて、付属のステンレスねじで受け皿を固定してください。

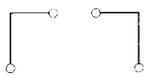


# 自動ドア連動出力

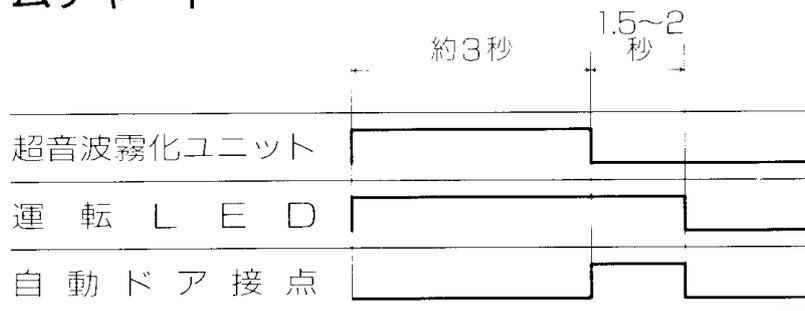
**て・きれいき** は、自動ドア用の接点出力を備えており、消毒が完了すると 1.5～2 秒間接点を閉じて（短絡して）信号を出力します。

**て・きれいき** と自動ドアを連動させる際は、次の手順で接続をしてください。

## 1 自動ドア接点出力の仕様

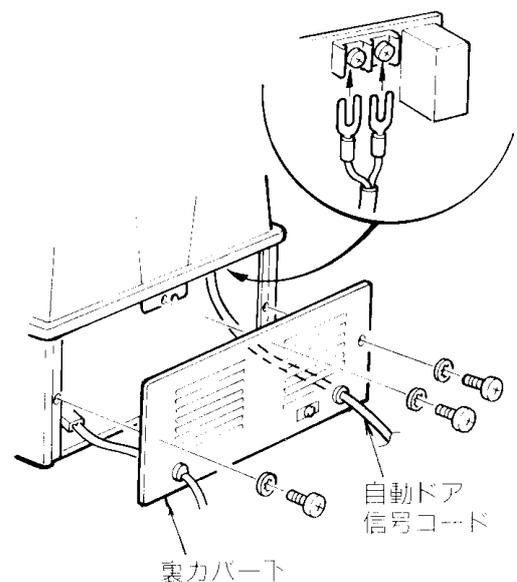
|           |             |   |
|-----------|-------------|---|
| 出力        | 無電圧A接点      |  |
| 端子台       | M3ねじ        |   |
| 接点容量(リレー) | DC専用 24V 3A |   |

## 2 タイムチャート



## 3 端子台の接続方法

- ① 裏側の3本のねじを外し、裏カバー下を少し上に持ち上げて外してください。
- ② 制御基板上の右上方にある端子台のM3ねじをゆるめ、自動ドア側からの信号コードを接続してください。  
信号コードは、外部から引張られないようにするか又は、引張られても端子台に力が加わらないように処理してください。
- ③ 裏カバー下を3本のねじ（座金を忘れずに）で元通りに固定してください。



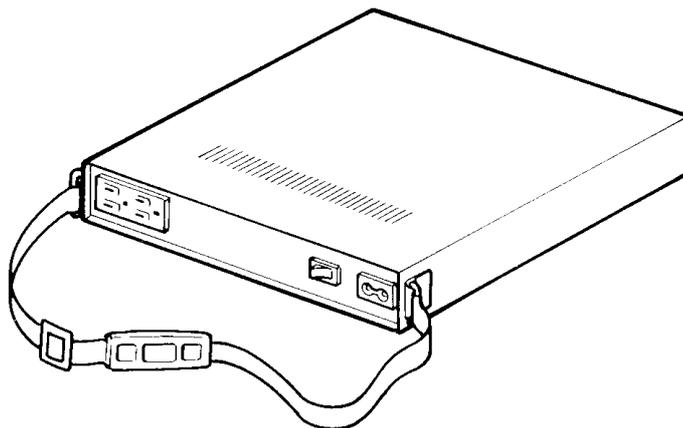
# 別売品

別売品

コンセントがない場所にも設置ができるよう、充電方式の交流電源パックを用意しました。(別売品)

## 【交流電源パック】

- バッテリーとAC100V交換器を組み合わせた充電式の電源装置です。
- 1回の充電で **て・きれいき** を約8時間（使用回数 約 200回）動作可能です。
- 充電時間 6時間
- 重 量 約 6.6kg
- 寸 法 幅 300mm  
奥行 350mm  
高さ 47mm



# サンデン株式会社

〒110-8555 東京都台東区台東1-31-7  
TEL 03-3833-1225